

# オリジナル部材等使った 非住宅木造の提案を 大建工業とコラボで

ポラテック木造非住宅の会

ポラテック木造非住宅の会は5月27日、大建工業秋葉原のDAI KENショールームで、コスト、デザイン性を提案して非住宅を



大建工業のショールームで開いた

木造化していきたい。価格が安く、軽い、早など総合的なコストパフォーマンスが高い」と、吉池景ポラテックプレカット営業事業部事業部長がいさつした。

セミナーでは下山順ポラテックプレカット非住宅推進課長が、木造非住宅について一般流通材をプレカットで

加工してコストを下げたいける可能性を示した。建築費ではRC造、S造に対して木造が圧倒的に安いことを昨年の建築工事費のデータから説明(用途、規模は問はず)。同社での非住宅木造のポリウムゾーンは200坪以下の層で、昨年一番大きかったもので874坪の老人施設だった。

同社のプレカットで用いる商品としてインクルーズ(タナカ)は、柱のほぞに挿入する鋼板プレートタイプの金物で、側面からねじ止め24kNに相当する。コーナー部の寄せようにはインクルーズNH・コーナー12kNがあり、化粧でもすっきり見せることが可能。オリジナルのPロックは柱脚金物用の座付きボルトで、高いせん断耐力を持つ。Bロックは梁受け金物用の座付き

ボルト、ラフターロックはあおり止め用の金物で、水平構面の強度向上に使える。また、トラスでもオリジナルのボルトラスやプレカット加工を前提にした中・大規模木造プレカット技術協会のJISトラスなど一般流通材を活用してトラスを飛ばせる工法を紹介した。

さらに、大建工業の井上直人サウンドセンター長は、建築物と音の問題について、生活音などクレームにつながるりやすい音対策や音伝搬の仕組みを解説し、音の特性、周波数などに応じた対策の必要性を示した。

受講者はセミナーに続いてDAIKENショールームを見学、音響については吸音材の使用による会議室の会話の聴こえ方の違いなどを体感した。